

# デーヴォ ガイド



2024.6.3-9

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

## セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディポジションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?



1:22 あなたがたは真理に従うことによって、たましいを清め、偽りのない兄弟愛を抱くようになったのですから、きよい心で互いに熱く愛し合いなさい。

1:23 あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく朽ちない種からであり、生きた、いつまでも残る、神のこばによるのです。

1:24 「人はみな草のよう。その栄えはみな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。

1:25 しかし、主のこばは永遠に立つ」とあるからです。これが、あなたがたに福音として宣べ伝えられたこばです。

2:1 ですからあなたがたは、すべての悪意、すべての偽り、偽善やねたみ、すべての悪口を捨てて、

2:2 生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、霊の乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。

2:3 あなたがたは、主がいつくしみ深い方であることを、確かに味わいました。

2:4 主のもとに来なさい。主は、人には捨てられたが神には選ばれた、尊い生ける石です。

2:5 あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。

2:6 聖書にこう書いてあるからです。「見よ、わたしはシオンに、選ばれた石、尊い要石を据える。この方に信頼する者は決して失望させられることがない。」

2:7 したがってこの石は、信じているあなたがたには尊いものですが、信じていない人々

にとっては、「家を建てる者たちが捨てた石、それが要の石となった」のであり、

2:8 それは「つまずきの石、妨げの岩」なのです。彼らがつまづくのは、みことばに従わないからであり、また、そうなるように定められていたのです。

2:9 しかし、あなたがたは選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神のものとされた民です。それは、あなたがたを闇の中から、ご自分の驚くべき光の中に召してくださった方の栄誉を、あなたがたが告げ知らせるためです。

2:10 あなたがたは以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、あわれみを受けたことがなかったのに、今はあわれみを受けています。

救われた者の生き方が書かれてあります。それはしなげなければならない道徳ではなく、「購い出してくださった「キリストの、尊い血」によるもの、神のこばによる」ものです。「新しく生まれた」者に、新しい生き方ができるのです。クリスチャンなら誰もが「聖なるもの」とされたいと願うでしょう。それができないのは自分の力でやろうとするからです。またはどこか不健全であるのは、自分の力でできたので、それを誇ったり人をさばいたりするからです。神様の恵みの力によって、新しくさせていただきましょ

う。正しいものになるう、聖いものになるう、高い信仰のレベルに到達しようとするのは良いことなのですが、そこに落とし穴もあります。自分の力でやろうとすると、偽善が生まれます。すなわち自分に好都合な基準や分野で見ようとするのです。または、自分より前を行っているよう見える人にねたみを感じるのです。競争心が生まれてもくるでしょう。

大切なことは、「生まれたばかりの乳飲み子

のように、純粋な、みことばの乳を慕い求め」ということです。これができれば、本当の成長ができます。ですから「主のもと」来ることが大切なのです。この主は、決して人から評価されることを願った方ではありません。むしろ「つまずきの石、妨げの岩。」でした。しかし、信仰のある者にとっては、「決して失望させられることのない」すばらしいお方です。

そして信仰のある私たちは「選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民」です。祭司は神様の前に人をとりなすのが働きですから、その祭司である私たちは、主の前に人を連れてきましよう。今の状況の中で、どのように伝道につながる事ができるか、それを考えましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 4日 火曜

### ペテロ I



2:11 愛する者たち、私は勧めます。あなたがたは旅人、寄留者なのですから、たましいに戦いを挑む肉の欲を避けなさい。  
2:12 異邦人の中にあって立派にふるまいなさい。そうすれば、彼らがあなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたの立派な行いを目にして、神の訪れの日に神をあがめるようになります。  
2:13 人が立てたすべての制度に、主のゆえに従いなさい。それが主権者である王であっても、  
2:14 あるいは、悪を行う者を罰して善を行う者をほめるために、王から遣わされた総督であっても、従いなさい。  
2:15 善を行って、愚かな者たちの無知な発言を封じることが、神のみこころだからです。  
2:16 自由な者として、しかもその自由を悪の言い訳にせず、神のしもべとして従いなさい。  
2:17 すべての人を敬い、兄弟たちを愛し、神を恐れ、王を敬いなさい。  
2:18 しもべたちよ、敬意を込めて主人に従いなさい。善良で優しい主人だけでなく、意地悪な主人にも従いなさい。  
2:19 もしだれかが不当な苦しみを受けながら、神の御前における良心のゆえに悲しみに耐えるなら、それは神に喜ばれることです。  
2:20 罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。しかし、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、それは神の御前に喜ばれることです。  
2:21 このためにこそ、あなたがたは召されました。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなた

がたに模範を残された。  
2:22 キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。  
2:23 ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。  
2:24 キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。  
2:25 あなたがたは羊のようにさまよっていた。しかし今や、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰った。

この世にいる期間は短いものです。ですからこの世の欲、または肉体から来る欲望に従い続けなければならないということはありません。がまんばかり続いて、耐えられるかと心配を覚えるときに思い出しましょう。  
そのような勝利の思いで、主人に仕え、不当なことにも耐えてゆきましょう。しかもそれは、イエス様と同じ道ですから栄誉あることです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 5日 水曜

ペテロ I



3:1 同じように、妻たちよ、自分の夫に従いなさい。たとえ、みことばに従わない夫であっても、妻の無言のふるまいによって神のものとなるためです。

3:2 夫は、あなたがたの、神を恐れる純粋な生き方を目にするのです。

3:3 あなたがたの飾りは、髪を編んだり金の飾りを付けたり、服を着飾ったりする外面的なものであってはいけません。

3:4 むしろ、柔和で穏やかな霊という朽るることのないものを持つ、心の中の隠れた人を飾りとしなさい。それこそ、神の御前で価値あるものです。

3:5 かつて、神に望みを置いた敬虔な女の人たちも、そのように自分を飾って、夫に従ったのです。

3:6 たとえば、サラはアブラハムを主と呼んで従いました。どんなことをも恐れないで善を行うなら、あなたがたはサラの子です。

3:7 同じように、夫たちよ、妻が自分より弱い器であることを理解して妻とともに暮らしなさい。また、いのちの恵みをとともに受け継ぐ者として尊敬しなさい。そうすれば、あなたがたの祈りは妨げられません。

3:8 最後に言います。みな、一つ思いになり、同情し合い、兄弟愛を示し、心の優しい人となり、謙虚でありなさい。

3:9 悪に対して悪を返さず、侮辱に対して侮辱を返さず、逆に祝福しなさい。あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのです。

3:10 「いのちを愛し、幸せな日々を見ようと願う者は、舌に悪口を言わせず、唇に欺きを語らせるな。

3:11 悪を離れて善を行い、平和を求め、それを追え。

3:12 主の目は正しい人たちの上にあり、主の耳は彼らの叫びに傾けられる。しかし主の顔は、悪をなす者どもに敵対する。」

前章に続き、忍耐の勧めが書かれています。前述のように苦しい我慢ではなく、地上にあるときだけの限定であり、またイエス様のような栄光を受ける生き方でもあります。

妻たちには夫に従うように勧めています。夫たちには妻を尊敬することを勧めています。男尊女卑の時代において卓越した考えと言えるでしょう。まして今はなおさらです。

最後に「悪に対して、祝福」で返しなさいと教えています。誰にでも当てはまる内容でしょう。自分自身のこととして、具体的に考えてみましょう。

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）



## 6日 木曜

ペテロ I

3:13 もしあなたがたが良いことに対して熱心であるなら、だれがあなたがたに害を加えるでしょう。

3:14 たとえ義のために苦しむことがあっても、あなたがたは幸いです。人々の脅かしを恐れたり、おびえたりしてはいけません。

3:15 むしろ、心の中でキリストを主とし、聖なる方としなさい。あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでも、いつでも弁明できる用意をしていなさい。

3:16 ただし、柔和な心で、恐れつづ、健全な良心をもって弁明しなさい。そうすれば、キリストにあるあなたがたの善良な生き方をののしている人たちが、あなたがたを悪く言ったことを恥じるでしょう。

3:17 神のみこころであるなら、悪を行って苦しみを受けるより、善を行って苦しみを受けるほうがよいのです。

3:18 キリストも一度、罪のために苦しみを受けられました。正しい方が正しくない者たちの身代わりになられたのです。それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、あなたがたを神に導くためでした。

3:19 その霊においてキリストは、捕らわれている霊たちのところに行って宣言されました。

3:20 かつてノアの時代に、箱舟が造られていた間、神が忍耐して待っておられたときに従わなかった霊たちにです。その箱舟に入ったわずかの人たち、すなわち八人は、水を通って救われました。

3:21 この水はまた、今あなたがたをイエス・キリストの復活を通して救うバプテスマの型なのです。バプテスマは肉の汚れを取り除く



ものではありません。それはむしろ、健全な良心が神に対して行う誓約です。

3:22 イエス・キリストは天に上り、神の右におられます。御使いたちも、もろもろの権威と権力も、この方に服従しています。

この手紙は迫害の中にいるクリスチャンたちに書かれました。ただしそこには、迫害を逃れるすべがあるわけではなく、また迫害に耐えれば祝福があると強調しているのでもありません。論点は意外にも全く別のところにあります。

「善に熱心である」こと、「弁明できる用意をして」いることが勧められているのです。そして十字架で身代わりとなって勝利した、イエス様の永遠のみわざを思うときに、クリスチャンも勝利することができるのです。当時のクリスチャンは、迫害にも命を捨てて戦えと教えられたものではありません。ただ救いのすばらしさ、永遠の命の確信、キリストの苦難と勝利を共有しました。そこにこそ、今も変わらない信仰の強さが生まれるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 7日 金曜

### ペテロ I

4:1 キリストは肉において苦しみを受けられたのですから、あなたがたも同じ心構えで自分自身を武装しなさい。肉において苦しみを受けた人は、罪との関わりを断っているのです。

4:2 それは、あなたがたが地上での残された時を、もはや人間の欲望にではなく、神のみこころに生きるようになるためです。

4:3 あなたがたは異邦人たちがしたいと思っていることを行い、好色、欲望、泥酔、遊興、宴会騒ぎ、律法に反する偶像礼拝などにふけりましたが、それは過ぎ去った時で十分です。

4:4 異邦人たちは、あなたがたと一緒に、度を越した同じ放蕩に走らないので不審に思い、中傷しますが、

4:5 彼らは、生きている者と死んだ者をさばこうとしておられる方に対して、申し開きをするようになります。

4:6 このさばきがあるために、死んだ人々にも生前、福音が宣べ伝えられていたのです。彼らが肉においては人間としてさばきを受けても、霊においては神によって生きるためでした。

4:7 万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。

4:8 何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。

4:9 不平を言わないで、互いにもてなし合いなさい。

4:10 それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。

4:11 語るのであれば、神のことばにふさわし



く語り、奉仕するのであれば、神が備えてくださる力によって、ふさわしく奉仕しなさい。すべてにおいて、イエス・キリストを通して神があがめられるためです。この方に栄光と力が世々限りなくありますように。アーメン。

「肉体において苦しみを受け」ることの恵みは、主により頼むことの経験です。人の力ではどうすることもできない切実な問題に、主は応えてくださるのです。そのような主を身近に感じる事ができます。また、その恵みは自分の弱さに気づくことです。自分の力ではどうにもならないときに、人は主への信頼を増し加えます。そして、その痛みにもすばらしい主のご計画と、守りと、逃れの道があることを分らせてくださいます。

さらにその恵みは、主と同じ経験です。主イエスが十字架で受けた苦しみの、ほんの一部を分らせてくださり、そのような者にしか味わうことのできない、主との愛の一体感を経験させてくださるのです。そしてそれは同じように苦しんでいる人々への慈愛につながってゆきます。

このようにすばらしい永遠の真理と愛に導かれた者は、はかない罪の楽しみや、薄汚れた罪の束縛には影響されなくなります。ですから「肉体において苦しみを受けた人は、罪とのかわりを断ちました。」ということが起きるのです。苦しみから逃げないで、恵みを見出して、雄雄しく受けて立ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 8日 土曜

ペテロ I



4:12 愛する者たち。あなたがたを試みるためにあなたがたの間で燃えさかる試練を、何か思いがけないことが起こったかのように、不審に思っははいけません。

4:13 むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜にあふれて喜ぶためです。

4:14 もしキリストの名のためにののしられるなら、あなたがたは幸いです。栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってくくださるからです。

4:15 あなたがたのうちのだれも、人殺し、盗人、危害を加える者、他人のことに干渉する者として、苦しみにあうことがないようにしなさい。

4:16 しかし、キリスト者として苦しみを受けるのなら、恥じることはありません。かえて、このことのゆえに神をあがめなさい。

4:17 さばきが神の家から始まる時が来ているからです。それが、まず私たちから始まるとすれば、神の福音に従わない者たちの結末はどうなるのでしょうか。

4:18 「正しい者がかろうじて救われるのなら、不敬虔な者や罪人はどうなるのか。」

4:19 ですから、神のみこころにより苦しみにあっている人たちは、善を行いつつ、真実な創造者に自分のたましいをゆだねなさい。

「もしキリストの名のために非難を受けるなら…栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってくくださる」とあります。私たちは信仰のゆえに、困難も恐れなくなるべきだと知っています。しかしその勇気や決断もなかなか

できないと感じているかも知れません。そのような時には、自分のところに主が今こそ「とどまってくくださる」と思い出してみてもどうでしょうか。

クリスチャンであっても罪を犯すことがあるでしょう。「さばきが、まず私たちから始まる」のは確かなことです。それほど主は聖なるお方です。

その聖なるお方のさばきが最も恐るべき力で臨むのが、「神の福音に従わない人たちの終わり」に際してです。ですから私たちは人を恐れるよりも、聖なる権威者神を恐れるべきなのです。主を恐れる者にこそ、本当の勇気が与えられます。本当の勝利が与えられるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



5:1 私は、あなたがたのうちの長老たちに、同じ長老の一人として、キリストの苦難の証人、やがて現される栄光にあずかる者として勧めます。

5:2 あなたがたのうちにいる、神の羊の群れを牧しなさい。強制されてではなく、神に従って自発的に、また卑しい利得を求めてではなく、心を込めて世話をしなさい。

5:3 割り当てられている人たちを支配するのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。

5:4 そうすれば、大牧者が現れるときに、あなたがたは、しばむことのない栄光の冠をいただくこととなります。

5:5 同じように、若い人たちよ、長老たちに従いなさい。みな互いに謙遜を身に着けなさい。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる」のです。

5:6 ですから、あなたがたは神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神は、ちょうど良い時に、あなたがたを高く上げてくださいます。

5:7 あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。

長老とは年齢のことではなく、指導的な立場にある人々のことです。教会では牧師のほか、リーダーやスポンサー、また教師やスタッフなど様々な指導者がいます。また信仰が数年以上であるなら、誰か新しい人をお世話しても良いのですから、「神の羊の群れを、牧しなさい。」とは、多くの人にとって、自分に言われていると考えて良いでしょう。

教会の人々の模範になることが求められています。どのような点で模範になる必要があるでしょう

か。しっかりと考えてみましょう。

また若い人たちとは、年齢ではなく信仰年数のことです。信仰が浅くても、または教会では指導的な立場になくても、社会では立派な人がいるでしょう。しかし社会の地位と教会での働きは違います。誰であっても教会では謙遜であることが求められます。教会での謙遜な姿勢はどのようにして表すことができるでしょうか。考えて実行しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

